

京丹後市都市拠点等の在り方検討会議 会議録

- 1 会議名 第2回京丹後市都市拠点等の在り方検討会議
- 2 開催日時 令和3年11月16日(火) 午後1時30～午後4時00分
- 3 開催場所 京丹後市役所2階 205会議室
- 4 出席者氏名
 - (1) 委員
藤井美枝子、堀井眞、今井みどり、味田佳子、田中智子、山崎高雄、嶋田健一郎、大西啓代、水田朋子、大庭哲治、水嶋式行
 - (2) 事務局
建設部都市計画・建築住宅課 課長 中川正明、同課 課長補佐兼係長 井上浩一
市長公室長 川口誠彦
同政策企画課 課長 松本晃治、同課 課長補佐 大江敦博
教育次長 引野雅文
- 5 内容
 - 関連する審議会等の検討状況について
 - しんざん小学校隣接エリアについて
エリアについて
目標について
土地利用方針について
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴者 2人
- 8 議題
 - しんざん小学校隣接エリアについて
エリアについて
目標について
土地利用方針について

(開会)

委員長 前は、市に必要な機能について、皆様からいろいろなご意見を賜りました。第2回では、もう少し具体的に、しんざん小学校隣接エリアにフォーカスを当て、基本構想も検討していきたいと思っております。

(事務局から関係する審議会等の検討状況について報告)

今後の京丹後市立図書館のあり方について(答申)…資料1-1

令和3年10月22日子ども未来まちづくり審議会答申書…資料1-2

令和3年10月13日文化芸術振興審議会への諮問書…資料1-3

(事務局から資料に基づき説明)

(1)検討エリア範囲…資料2

(質疑応答及び意見)

- 委員 既存の建物を含む範囲が検討範囲ですか。
- 事務局 道路を境界に区切っているので、既存の建物も含め、検討範囲としています。
- 委員 道路が新しく配置され、道路に多くの面積を取られるような気がします。駐車場の整備も含めると建物自体はそんなに広くないという印象を持ちました。
- 事務局 インター線は、両側歩道の幅員13メートルです。資料では、幅が広いように感じますが、十分に建物を建てることができます。
前回、委員から質問いただいた交通量について、令和12年度の計画交通量は1日あたり5,300台です。
- 委員 駐車場が必要で場所が狭いとなった場合は、エリアが広がる可能性もあるという理解でいいですか。
- 事務局 整備をする段階で必要となれば、エリアの拡張も必要が出てきます。
- 委員長 本日の議論は、このエリアの土地利用についてです。必要な機能を検討する上でのエリアの設定になります。
- 委員 高速道路は、SAやPAの整備はないですか。
- 事務局 高速道路本線上にSAやPAの予定はなく、国道として整備されるインター線にも道の駅等の計画はありません。

(事務局から資料に基づき説明)

ア エリア目標…資料3

(質疑応答及び意見)

- 委員長 このエリアを今後どのように土地利用を図っていくか、どういった機能が必要かを考えるにあたって、目標が重要になってくることから目標を議論してまいります。
- 委員 インター線の交通量のイメージとしては峰山・網野間くらいですか。
- 事務局 国道312号線峰山・久美浜間、1日あたり7,758台に近いです。
- 委員 今、図書館を利用される年代はどの年代が多いですか。
- 事務局 年配の方や子ども、子ども連れの人利用が多いです。

- 委員 子どもだけで交通量の多いところに集うとなると交通事故が懸念されます。交通結節点にはそういった視点も必要になると思います。
- 事務局 インター線は、両側歩道での整備を予定し、歩行者の安全対策を図っていきます。
- 委員 公共図書館の機能としては、地域の資料にアクセスできるツールが整っていることが重要だと思います。
- 委員長 昨今、図書館には多様な機能が求められています。今後を見据えた新しい図書館を検討してほしいと思います。
- 委員 目標の文中の「調和したまちの形成」と「棲み分け」は同じ意味と考えてよいか。
- 事務局 同じ意味です。上2行の目標を達成するための具体的方法として3つ挙げているものです。
- 委員 「にぎわい施設」は、どういうものを想定していますか。
- 事務局 具体の想定はありません。民間の店舗等により人が集い、にぎわいが生まれることを想定しています。目標設定において、できるだけ多くの要素を含む方がよいと考え、このような表現にしています。
- 委員 道路整備に合わせて整備するのであれば、今後のスケジュールを記載した方がよいのではないか。
- 事務局 2か年の検討会で目標と方針を明らかにすることを目的としています。検討会での目標と方針を検討した後の具体の議論の際に、スケジュールを示していきたいです。
- 土地の面積に限りがあり、検討エリアにどのような機能が必要かという議論になると思います。
- 全ての機能をこのエリアで満たすことができるものではないため、目標は、こういった都市機能が必要かを検討する上で視点となるものと考えています。
- 委員 この規模での必要最低限の施設機能を導入してはどうか。
- 委員 玄関口としては、観光を案内するポイントになれば良いと思います。
- 委員 観光客を迎えるという観点からは、トイレが必要だと思います。
- 皆さんの考える未来都市のイメージがそれぞれ異なると感じます。
- 若い世代が描いている地域について、聞く場面を設けていただきたい。
- 事務局 このエリアで各審議会の答申内容を全て網羅できるものと考えていません。都市計画マスタープランに、玄関口としての観光情報の発信も定めています。

(事務局から資料に基づき説明)

イ 土地利用方針について…資料4

(質疑応答及び意見)

- 委員 民間活用エリアも市として用地取得を予定していますか。
- 事務局 公共公益エリアのみ用地取得を予定しています。
- 委員 水色エリアは市が開発する土地、オレンジエリアは民間に任せるエリアということですか。
- 事務局 その通りです。土地利用を行政で整備するという点で、公共公益エリアを図示しています。
- 委員 民間活用のための法的誘導策はどういったものを検討していますか。
- 事務局 用途地域を指定することにより、都市的土地利用を促進できると考えています。
- 委員 インター線によりエリアが二等分されているが、なぜこのような形になっているのですか。
- 事務局 棲み分けという観点から、道路によって公共公益エリアと民間活用エリアを分けています。
- 委員 エリア間の行き来をする場合、道路の横断が必要になります。玄関口として観光客を迎え入れるようなゆとりをもって通れるような道路として位置を変えて、1つのエリアとして公共も民間も活用するエリアにするのは良いと思います。
- 事務局 道路の位置については、決定事項であり、位置の変更は難しいです。エリア間の道路の横断の危険性については、整備段階での留意事項とさせていただきます。
- 委員 玄関口となると、トイレ、公園と駐車場が必要だと思います。
- 委員 小学校の隣に商業施設が建つことに支障があるので、インター線を境に民間活用を制限しようというのが今回の検討の内容かと思います。玄関口として捉えるのであれば、Aの区域は民間活用が良いと思います。
- 事務局 公共公益エリアは、教育施設と商業施設の緩衝帯として整備していきたいので、公共的土地利用をしていきたい。
- 委員 目標の「棲み分け」という言葉に違和感を覚えます。目標は誰にでも分かる言葉で記載した方が良いと思います。
- 事務局 分かりやすい言葉で表現できるように文言を工夫させていただきます。
- 委員 公園の中に民間のカフェ等があればいいと思います。
- 事務局 指定管理者制度などで公共施設を民間で運営することはできます。
- 委員 しんざん小学校とインター線との間は、公共的土地利用を検討すること。これ以外の小・中学校との違いは、ここは都市拠点として商業的な利用が見込まれるため、緩衝帯が必要ということですか。
- 事務局 インター線がつながることで都市的活用が進むと想定されるので、緩衝

帯として公共的土地利用を検討するものです。

委員 交通量が多くなることを見込まれる中で賑わいを生み出すには、オレンジのエリアも公共公益エリアにしてはどうでしょうか。

委員 インター線の横断が危険ということであれば、横断歩道や信号といったことを示しておくことも必要だと思います。

事務局 安全面の配慮から公共公益エリアを広げるというのは、まちの活性化につながらないかもしれません。いろいろな企業に参入いただくことで賑わいが生まれると感じています。その点で公共エリアは必要最小限で活用する方が合理的に感じます。

委員 目標に掲げる三つの視点は、一つ目にしんざん小学校の近くに商業施設を持ってきません。二つ目にインター線をきっかけにまちの活性化を図ります。三つ目は、安全面に配慮した施設を作ります。ということかなと思いました。

委員長 目標に関しては、事務局と相談し、分かりやすく表記します。
土地利用方針(案)については、次回も調整できる余地を残しつつ、この案で進めさせていただきます。

○検討結果

エリアについて

次のとおり確認された。

検討エリア範囲…事務局の提案どおり範囲を設定する

エリア目標…事務局の提案内容を基に分かりやすい表現とする

方向性：内容を分かりやすい表現とすること

三つの視点は、本文に盛り込み、趣旨を統合すること

土地利用方針…事務局の提案どおり区分する。

ウ その他

委員長 委員からも意見がありましたとおり、若者の意見を聞きながら都市拠点全体の在り方を議論していきたいと思います。

また、必要な都市機能や交通ネットワークを検討するためには、詳細な現状把握が必要になると思います。

(閉会)

副委員長 活発な議論になったと思います。引き続き、貴重な意見を賜りますようお願い申し上げます。